

# 恐慌を越えて皆がんばれ

马 刚  
MA GANG

近年稀に見るこの恐慌は、去年から世界中のみ込み、今でも続いています。

テレビで初めて恐慌のニュースを聞いた頃、まだ私の会社はその影響を受けていませんでした。恐慌を怖いと思っていない私は、いつもの様に仕事をこなす毎日でした。

それから二ヶ月が経った頃、状況は悪夢の様に一変しました。仕事が一気に少なくなり、殆んど無いと言ってもいい程にまで落ち込みました。工場の掃除や、整理整頓を繰り返す毎日。この状況が続けば、会社が倒産する可能性もあると思いました。これは誰しもが感じているだろう事。しかし、何故か、その様な話が周りからは聞こえてきません。

「仕事量が少ないから以前の様に急いで仕事をする必要もない。」そう思った私は毎日ゆっくりゆっくり仕事をします。しかし周囲は今まで通り一生懸命仕事をしています。どこにそんなに仕事があるのでしょうか？解らない私の内心は不安で一杯でした。

ある日の休憩中、主任が私に尋ねました。「どうして最近、以前よりゆっくりと仕事をするのだ？」と。私はその理由を主任に話しました。すると主任は「その考えは違うよ。」と言いました。「もし、誰もがあなたと同じ仕事の仕方をすれば、どんな会社も必ず倒産する。今、仕事が無い事は皆解っている。それでも、一生懸命に仕事にする。あなたはこれから、皆がどの様に仕事をしているか注意してよく観察してやる必要がある。」

主任の言葉をきっかけに、その日から、他人の仕事にも目を向けるようになりました。その内、ある事に気付いたのです。

一緒に作業をしているはずの人が、よく各々の作業台から離れて居なくなる事が多いという事に。

ある日、別の事業部で作業をしている彼らの姿を目撃しました。私は「何で他の事業部を手伝って、自分の仕事をしないのだ？」と疑問に感じました。

翌朝、その事を課長に尋ねると、課長は丁寧に、その説明をしてくれました。

「はっきり言って、現在仕事は殆んど無い。でも皆、会社の為に絶対手を抜かない。別の事業部で人手が必要なら、私はすぐに手の空いた人をそこへ配置している。皆自分に出来る精一杯の努力をしているのです！社員皆が会社に改善案を提出し、材料費や光熱費の削減、機械や治具の点検を行い。他にも、会社周辺の美化・緑化、社内レイアウトの見直しによる作業の合理化・高能率化を積極的に図っている。素晴らしい事ですね。」

課長の話聞いた時、私はとても驚き、そしてこう思いました。「そうだ！社内皆がこうやって自分のすべき事を努力していれば、どんな困難も乗り越える事が出来る！恐慌も怖くないのだ！」

今、春ですね。桜がもうすぐ咲きます。私は信じる。会社の皆は絶対に笑顔で花見を迎える事が出来る。